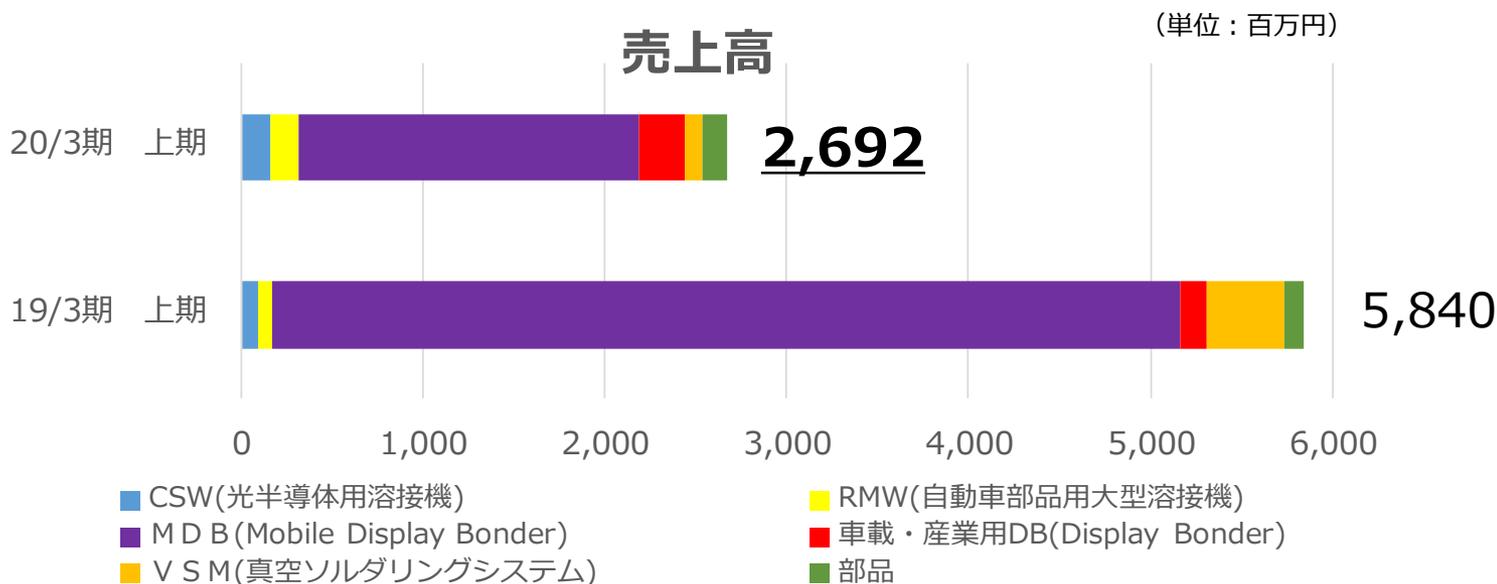


メカトロニクス事業詳細



20/3期 上期売上高概況

- MDB：スマホ市場需要鈍化で設備投資伸びず
- DB：産業用ディスプレイ用途で欧州市場参入
- VSM：中国PD市場は競合多く拡販伸びず

20/3期 上期重点施策

- 生産性向上
 - ・ 中国における設備の現地立上体制構築
 - ・ 海外生産機種の大拡販

20/3期 下期重点施策

- 生産性向上
 - ・ VSM：市場別特化機種の大拡販
 - ・ 海外生産の大拡販
- 拡販強化
 - ・ DB：車載ディスプレイ向け（国内/中国）
 - ・ CSW：5G光通信市場向け（中国）
 - ・ VSM：LED/PD/MEMS向け（国内/台湾）
- 新市場の探索及び開拓（将来の主力分野）¹⁵

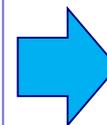
【生産性向上への取組み】

➤ 中国における設備の現地立上体制構築

ローカルエンジニア
及び期間工の
活用体制を確立

+

研修・教育による
品質維持体制を構築



日本からの派遣削減、
現地スタッフ主導による
立上体制を構築

➤ 海外生産機種種の拡大

- 117期：初めての海外生産（中国）を開始 = DB（車載向けディスプレイ貼合せ装置）半自動機
- 118期：DB全自動機の海外生産に着手
- 119期：海外生産（中国・台湾）機種種を拡大 = VSM（真空ソルダー）、CSW（光通信用溶接機）
※海外生産は機種種の一部装置及び主要ユニットを含みます。

更なるコスト競争力の

強化を図ってまいります！



2機種種の海外生産を開始

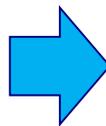
【生産性向上への取組み】

➤ VSM市場別機能特化機種種の構築

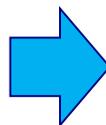
汎用装置は
コスト削減に限界あり



VSM汎用装置



市場別(LED/パワーデバイス/MEMS)に
必要な機能を維持/追加、不要な機能を省く



市場別機能
特化装置へ

⇒120期リリース予定

**付加価値を上げ
コストメリットを引き出す！**

【DB拡販への取組み】

➤ ディスプレイ市場の流れ

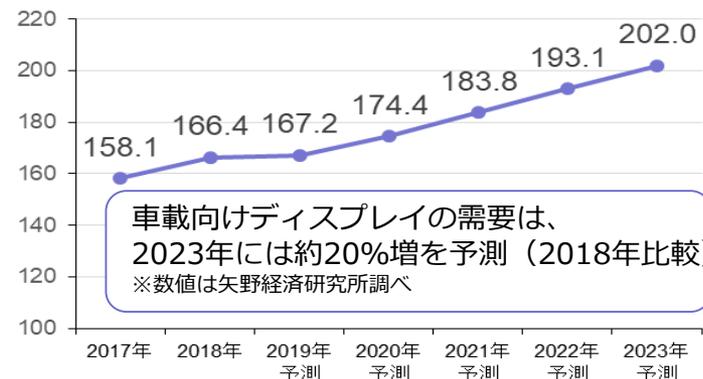
- ・車載向け及び曲面（カーブ）基盤がトレンド
※SID（国際情報ディスプレイ学会=Society for Information Display）による。
- ・生産設備の自動化/インライン化
（量産化、人件費高騰、高精度化、品質重視）

➤ 下期取組み

- ・国内/中国メーカー向け引合増加（売上120期予定）
- ・プロセスサポートによる既存顧客次期引合い案件への訴求
- ・客先要求（仕様・プロセス他）の実現化による新規顧客の取込み

（単位：百万枚）

車載向けディスプレイ需要



車載向けディスプレイの需要は、
2023年には約20%増を予測（2018年比較）
※数値は矢野経済研究所調べ

注1. メーカー出荷数量ベース、純正品および市販品を含む

注2. 2019年以降は予測値

注3. 自動車に使用されるCID (Center Information Display)、Cluster(Instrument Cluster)、RSE(Rear Seat Entertainment)、HUD(Head-up Display)、Mirror(Rear view Mirror/Side Mirror)向けのLCD-TFT、AM-OLEDを対象とした